

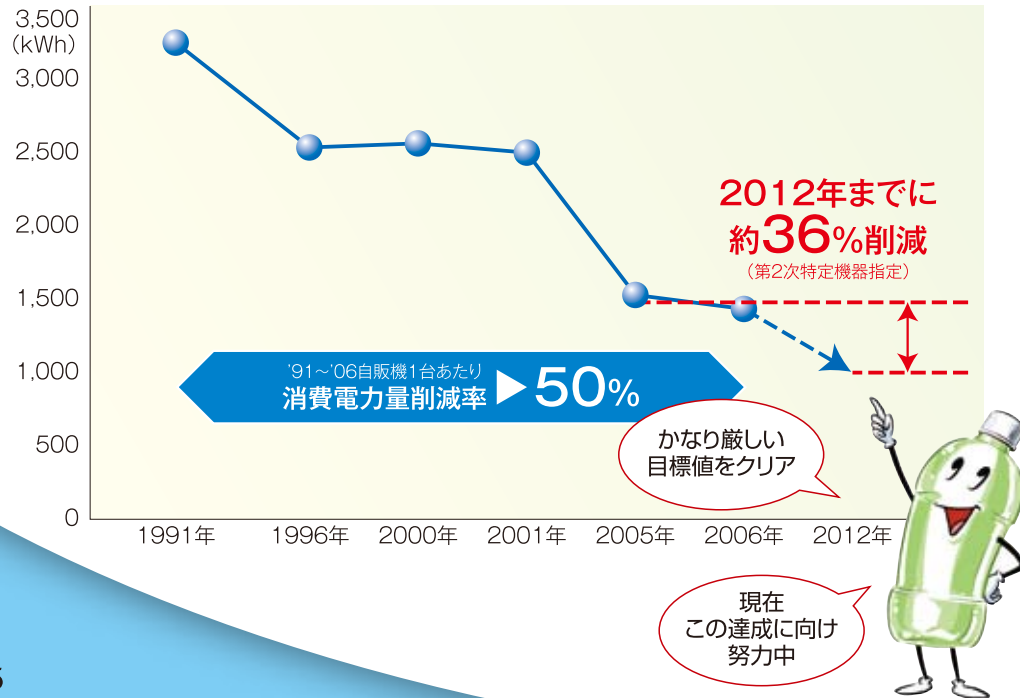
世界のテーマ「地球温暖化防止」 自販機もこの課題に熱心です

自販機の省電力化 かなりのハイペースで達成してきました

地球温暖化防止は、いますべての国、すべての企業、そして個人でも取り組まなければならない課題です。もちろん自販機業界でも、1997年の「京都議定書」以前から他の産業に先がけ消費電力量の削減に取り組んできました。まずは下の表をご覧ください。



■ 缶飲料自販機1台あたりの年間消費電力量グラフ



いまの自販機は 従来の50%以下の電力で動きます

2度の自主計画を通じ、10年間で消費電力量を30%削減。さらに省エネ法の「特定機器」に指定された2002年からは、一段と厳しい目標に取り組んできました。その結果、15年間で缶飲料自販機1台あたりの消費電力量は半減。でも、これはひとつの通過点にすぎません。



20年前に比べ約70%の省電力化 これがいまの達成目標です

2012年までにさらに約36%の削減(2005年比)。これが省エネ法で新たに義務づけられた目標です。これを達成すると、缶飲料自販機の場合、消費電力量を20年で約70%カットすることになります。高機能化だけでなく、省エネでも自販機先進国であるために。業界ではいま新しい省エネ技術の開発と導入を促進しています。

